2018年2月

保育者養成に関するアンケート（四年制大学編）

●この調査は、保育者養成を行っている教育機関の責任者の方に対して、保育者養成教育の実態やご意見をお伺いし、今後の保育者養成教育のあり方について学術的に検討することを目的としています。

●いただいた回答はすべて統計的に処理され、各機関やお答えいただいた方についての情報が他の目的で使われることは決してありません。本調査票は、2月15日ごろまでに、同封の返信用封筒（切手不要）にてご返信ください。（15日以降も受け付けております）。

●この調査は、東京大学大学院教育学研究科　発達保育実践政策学研究センター（http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/）の研究助成をうけて行うものです。調査内容についてのお問い合わせは下記までお願いします。不在にしていることもありますので、できましたら、メールでお問い合わせください。

東京大学大学院　教育学研究科　准教授　両角亜希子 [redacted]

大学経営・政策コース事務室 [redacted]（平日 10：00～18：00）

1　貴学についてお答えください

問１　大学の設置形態についてお答えください。（○は１つ）

6.0	国立	3.6	公立	90.4	私立

問２　同じ法人の中に、保育者養成を行っている他の機関はありますか。（○はいくつでも）

39.8	短大	1.2	専門学校	2.4	通信課程	56.6	ない

問３　法人内に幼稚園もしくは保育所を併設していますか。（○は１つ）

65.1	はい	34.9	いいえ

問４　立地をお答えください。（○は１つ）

31.3	政令指定都市及び東京都特別区部	68.7	それ以外の市部	－	群部及び町村

問５　貴学はいつごろ設置されましたか（前身ではなく、現在の大学についてお答えください）（○は１つ）

20.5	1960年以前	12.0	1976年～1990年	27.7	1999年以降
24.1	1961年～1975年	15.7	1991年～1998年		

２　保育者養成をおこなう学部・学科等の概要についてお答えください

問６　保育者養成にかかわる学部・学科等はいつごろ設置されましたか。（○は１つ）

3.6 1960 年以前	6.0 1976 年～1990 年	73.5 1999 年以降
13.3 1961 年～1975 年	2.4 1991 年～1998 年	

問７　貴学部・学科等の設立の背景につきまして、あてはまるものに○をつけてください。（○は１つ）

31.3 新規開設（前身なし）	36.1 学部改組等
25.3 短期大学から発展	6.0 その他（具体的に：　　）
1.2 専門学校から発展	

問８　入学者の、入試形態別の比率についてお答えください。（100%になるようお書きください）

a. 一般入試による入学者	（ 37.4 ）%
b. 推薦入試による入学者	（ 40.8 ）%
c. ＡＯ入試による入学者	（ 17.8 ）%
d. その他（具体的に：　　）	（ 3.9 ）%
（合計が 100%になるようにご確認ください）	１００ %

問９　保育者養成にかかわる学部・学科等の、入学定員についてお答えください。

（2017 年 4 月 1 日時点）

91.6　名

問 10　定員確保の状況についてお答えください。（○は１つ）

61.4 ほぼ充足している	37.3 未充足のこともある

問 11　保育者養成にかかわる学部・学科等で取得可能な資格についてお答えください。（○はいくつでも）

100.0 保育士	18.1 社会福祉士	25.3 特別支援学校一種
96.4 幼稚園教諭一種	31.3 社会福祉主事	19.3 児童指導員
69.9 小学校教諭一種	9.6 学芸員	27.7 その他（具体的に：　　）

問 12　貴学部・学科等に入学する学生の学力層についてお答えください。（○は１つ）

27.7 保育者養成課程（短期大学を含む）のなかでは、「学力が高い方」である
53.0 保育者養成課程（短期大学を含む）のなかでは、「学力が中程度」である
19.3 保育者養成課程（短期大学を含む）のなかでは、「学力が低い方」である

3　保育者養成をおこなう学科等の教育についてお答えください

問 13　貴学科等における保育者養成教育の特色について、次の a～n のあてはまるものに○をつけてください。

（○は a～n それぞれ 1 つずつ）

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
a　認定要件以上に保育専門科目が充実している	2.4	20.5	43.4	31.3
b　実習先が十分に確保されている	－	9.6	30.1	60.2
c　実習指導が手厚い	－	9.6	36.1	54.2
d　実習期間の設定が長い	7.2	43.4	34.9	13.3
e　体育・芸術などの独自科目が充実している	4.8	32.5	49.4	13.3
f　教養科目が充実している	1.2	31.3	42.2	25.3
g　研究会・ゼミが充実している	－	21.7	47.0	31.3
h　卒業研究・卒業論文に力を入れている	－	16.9	43.4	39.8
i　海外研修プログラムに力を入れている	25.3	34.9	26.5	12.0
j　丁寧な就職支援を行っている	－	3.6	39.8	56.6
k　公務員試験対策に力を入れている	1.2	10.8	50.6	37.3
l　保育者養成の歴史が長い（前身を含めて）	26.5	22.9	20.5	28.9
m　実習以外にも現場経験の機会がある	2.4	9.6	48.2	39.8
n　現場との強いネットワークがある	－	21.7	53.0	25.3

問 14　保育者養成は短期大学等でも行われていますが、それらと比べて四年制大学で行うメリットは何ですか。次の a～k についてあてはまるものに○をつけてください。

（○は a～k それぞれ 1 つずつ）

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
a　基礎学力の高い学生の受け皿となりうる	6.0	14.5	49.4	30.1
b　保育専門科目が充実している	3.6	20.5	34.9	41.0
c　教養科目が充実している	2.4	13.3	43.4	41.0
d　時間的なゆとりがある	2.4	6.0	31.3	60.2
e　卒業時の 2 歳という年齢の違いによる成熟度の違いが社会人生活をするうえで大きい	－	6.0	45.8	48.2
f　よりよい就職先に勤めやすい	－	26.5	48.2	25.3
g　他の資格も取れる	1.2	15.7	38.6	44.6
h　入学後に他の職業と悩む時間が取れる	－	10.8	56.6	32.5
i　就職後、より長く勤務していくことが期待できる	2.4	28.9	47.0	20.5
j　学生として現場経験をより長く積むことができる	－	15.7	59.0	25.3
k　教員の質が高い	1.2	24.1	51.8	22.9

問 15　保育者養成は短期大学等でも行われていますが、それらと比べて四年制大学卒業の保育者はどのような能力が高いと思われますか。次の a～g についてあてはまるものに○をつけてください。
（○は a～g それぞれ１つずつ）

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
a　保育実践力が高い	1.2	24.1	60.2	14.5
b　マネジメント能力が高い	1.2	15.7	65.1	18.1
c　保育者としての適性がある	1.2	34.9	51.8	10.8
d　子ども理解力が高い	－	7.2	53.0	38.6
e　保護者対応能力が高い	1.2	24.1	56.6	18.1
f　保育に関する事務処理能力が高い	－	25.3	57.8	16.9
g　順応性・協調性がある	2.4	24.1	59.0	13.3

問 16　教育上の課題は何ですか。次の a～g についてあてはまるものに○をつけてください。
（○は a～g それぞれ１つずつ）

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
a　学生の学習習慣不足	3.6	16.9	48.2	30.1
b　保育を専門とする教員の不足	3.6	28.9	41.0	26.5
c　教員の協力体制の構築	8.4	39.8	33.7	18.1
d　実習先の確保	15.7	39.8	36.1	8.4
e　学生の保護者の対応が大変である	22.9	54.2	15.7	7.2
f　学生の実習マナーに問題がある	12.0	42.2	36.1	9.6
g　学生確保が厳しくなっている	16.9	22.9	42.2	18.1

問 17　卒業時に免許・資格を取る学生の比率をお答えください。

a．保育士資格	（ 82.0 ）%
b．幼稚園教諭一種免許	（ 80.4 ）%
c．小学校教諭一種免許	（ 31.7 ）%

問 18　就職先の内訳をお答えください。（100%になるようお書きください）

a．保育士	（ 46.2 ）%
b．幼稚園教諭	（ 20.2 ）%
c．小学校教諭	（ 12.4 ）%
d．その他（具体的に：　　）	（ 21.2 ）%
（合計が 100%になるようにご確認ください）	１００ %

問 19　貴学科等の卒業生で保育者として就職した方の就職後について、次の a～e のあてはまるものに○をつけてください。

（○は a～e それぞれ１つずつ）

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる	不明
a　実践力が高い	－	7.2	55.4	18.1	12.0
b　保育者として長年勤務する卒業生が育っている	－	8.4	45.8	21.7	16.9
c　保育現場を引っ張っていく卒業生が育っている	1.2	9.6	36.1	28.9	16.9
d　現場で良好な人間関係を築いている	－	4.8	49.4	25.3	14.5
e　公立に勤務する割合が高い	3.6	28.9	32.5	27.7	1.2

問 20　卒業生との関わりについて、次の a～b のあてはまるものに○をつけてください。

（○は a～b それぞれ１つずつ）

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
a　卒業生の就業状況を把握している	－	24.1	44.6	26.5
b　卒業後の支援システムが整備されている	10.8	50.6	24.1	9.6

4　貴学科等の専任の先生方について教えてください

問 21　保育を専門とする先生の比率を教えてください。

約	35.0	%

問 22　保育現場の経験のある先生の比率を教えてください。

約	17.2	%

問 23　専任の先生方について、次の a～e のあてはまるものに○をつけてください。

（○は a～e それぞれ１つずつ）

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
a　担当授業が多い	1.2	12.0	36.1	50.6
b　実習指導が忙しい	1.2	3.6	43.4	51.8
c　学生募集のために時間が取られる	8.4	37.3	37.3	15.7
d　保育者を育てている自負を十分にもっている	－	13.3	41.0	45.8
e　教員間のコミュニケーションは良好である	2.4	8.4	49.4	39.8

５　貴学の立場を踏まえたご自身のお考えをお答えください

問 24　保育現場、保育者養成の政策について、次の a～f のあてはまるものに〇をつけてください。
（〇は a～f それぞれ１つずつ）

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
a　四年制大学卒業生への現場の需要は大きい	1.2	10.8	53.0	33.7
b　保育士についても短期大学・専門学校と違うレベルの資格を導入するべきだ	1.2	10.8	38.6	47.0
c　幼稚園教諭免許について一種/二種の学歴による資格の差を明確にするべきだ	－	15.7	41.0	41.0
d　保育者の待遇が改善しないと優秀な学生が保育者を目指さない	－	3.6	20.5	73.5
e　保育者を質に応じて階層化していく必要がある	3.6	19.3	44.6	30.1
f　保育者養成において四年制大学の比重は今後さらに進むと思う	1.2	7.2	33.7	56.6

問 25　保育者養成はどのような機関で行うのが望ましいと思いますか。（〇は１つ）

1.2 専門学校	1.2 短期大学	91.6 四年制大学	3.6 大学院修士課程以上

最後に、保育者養成に関わる政策・制度等に関して自由にご意見をお書きください。

アンケートは以上です。お忙しいところご協力いただき、誠にありがとうございました。